

JWAF journal

日本勤労者山岳連盟

2025 3

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24

TEL : 03-3260-6331 FAX : 03-3235-4324

Mail : jwaf@jwaf.jp

発行責任者 / 川嶋高志 発行年月 / 2025年3月



上徳間峠

「黄金色の里山」

数年前、山仲間と一緒に初めてこの場所を訪れた時、目の前の斜面に広がる一面のミツマタの群生に心を奪われました。こんなにたくさんのミツマタの花が咲いているのを見たのは初めてでした。それ以来、毎年3月に訪れています。

(福原みさよ・あさぎり山の会/静岡)

- 第36期第1回評議会 報告
- 白馬母池高原にて全国雪崩講習会



求め続けよう

平和な社会と安全登山！

2・15～16 労山 第36期第1回評議会を開催

日本勤労者山岳連盟の第36期第1回評議会が、2025年2月15日(土)～16日(日)に、東京都・府中市のホテルで開催され、評議員36名、専門委員・傍聴者10名、役員・監事・事務局32名の全体で78名が参加、委任状は4通提出された。

この評議会には、3つの議案が提出された。第1号議案＝2024年活動報告と2025年活動方針案、第2号議案＝各会計の2024年度決算と2025年度予算案、第3号議案＝役員行動費の不正受給について・その他。

議長には、東京都連盟から佐々木功さんの立候補があり、全国連盟からの赤間弘記・理事／大杖哲司・理事の3人で議長団を務めた。

このうち、第1号議案では、川嶋理事長から2024年度活動と2025年度方針、主な行事日程が報告・提案され、それを受けて各評議員からも各地の取り組みの報告が行われ、提起内容が補充された。

第2号議案では、東京の評議員から、労山基金の定款を変更し、「もっと大規模に各地での教育活動を補助すべきだ」との動議が出された。

第3号議案では、当該2名の役員から最初に発言があり、両名退出後に若干の質疑がかわされた。

議案の採決は2日目の最後にまとめて行われ、1号議案は賛成多数で可決。2号議案は、まず提出された動議についての賛否が問われ、反対多数で動議は不採択となった。そのうえで、2号議案原案の採決が行われ、賛成多数で可決。最後に第3号議案の採決が行われたが、賛成、反対、保留に意見が割れ、採択には至らなかった。

なおこの評議会で、日本勤労者山岳連盟に2017年から勤務し、事務局長も2022年総会から就任した小池藍さんが、都合により退職されることになった(勤務2月末まで)。長い間、お疲れさまでした。後任はまだ、決まっていない。

小池さんにかわって、新しい専従職員(事務局長ではない)として、小松屋道代さん(東京・杉並山の会)がすでに勤務を開始している。その他、事務局員は川嶋高志・理事長、源島道恵、(以下は非正規・アルバイト)宮内森矢、樫本理加、他2名、(ボランティア)石川友好。

■ 第39回全国雪崩事故を防ぐための講習会 久しぶりに研修生3名が参加して実施



2025年1月31日～2月2日
長野県、白馬・栂池高原

←写真左: 関東講習会ではビーコンパークが大活躍した

↓写真右(上): 研修生のシャベルコンプレッションテスト

↓写真右(下): 乗鞍岳を前に天狗原から滑走

2020年以降は地方連盟の講師や講師候補生を迎えての講習会が開催できなかったが、今回は地方講習会で講師を務める3名が参加して、全国連盟講師・スタッフを合わせて19名で開催した。地方講習会で講師のできる人材を育成することが、全国講習会の主要な目的の一つである。北信越から2名、近畿から1名が参加したが、3名とも、熱心に研鑽していた。テキストの改訂も一段落し、講習内容の整理、机上講習で使用する教材の作成などが課題となっている。

例年、天候や時間的制約のため行動判断が充分にできていないとの反省から、冬型が続き積雪は多い状態だったが、積雪断面観察の結果、安定しているとの行動判断で、天狗原まで行って標高差600mを滑走することができた(全国連盟HPのFBに掲載中)。その間、半数はシャベルコンプレッションテストの強度試験やシナリオトレーニングを検証した。2日目の夜、机上講習では、北海道教育大学の尾関俊浩教授の「雪の新分類」についてZoom講義を受講した。最終日は二日間の研修内容の報告と質疑、来年度以降の「講師養成クラス」再開について、室内で話し合った。

参加者は松浦孝之・渡辺猛(北海道)、柏倉亨・鈴木健一郎・橋本治(東北)、石川昌・笹本勉・陶山正(関東)、平井茂雄・朴木孝之(北陸)、水野千浩・宮田彰久(東海)、坪山芳樹(近畿)、小林健一(中国)、川嶋高志(責任者)、有安孝浩(事務局長)。



研修生が南恵・宅本憲太郎(北陸)、上岡論(近畿)の合計19名。オンラインで小関澄夫(東北)の参加もあった。

各地方講習会も豊富な積雪で予定通り開催された。

全国雪崩講習会 責任者 川嶋高志

▲ 部・局・専門委員会の活動

■ 遭難対策部 さらに積雪期登山の安全登山を

1月31日までに届いた事故一報は、27件27名、今月の事故原因は、転倒が16名、転・滑落が8名、落氷が1名、疲労が1名、その他が1名。登山形態は、無雪期が13名、積雪期が6名、登攀が4名(冬季登攀1名含む)。傷病名では、骨折が14名、打撲が3名、断裂・挫傷・損傷が各1名、捻挫が2名、損傷が1名、その他が4名。下山中の事故は15名(内13件が転倒事故)。

今月は積雪期登山での疲労による凍傷、氷瀑での落氷や転落、凍結した登山道や山スキーの転倒事故が多数発生した。ルート状況により思わぬ時間の経過や、凍結した登山道でのスリップや転倒は、周りの状況を注意深く確認し無理をしない事が必要だ。

今年に入り過去に無い降雪の多い地域では、雪崩の発生も予想される。雪崩の危険度評価(シャベルコンプレッションテスト)を確実にし、ビーコンの装着も含めた対策を行って頂きたい。1月末日で2024年の事故件数・事故者数は、349件・365名であった。事故者数では、前年の366名に続き過去2番目に多い事故者数となった。詳しい分析については、後日発表します。

(遭難対策部長 石川昌)

■ 労山基金運営委員会 労山事故対策基金のお仕事

全国連盟労山基金にはホームページからの問い合わせや、電話による質問などたくさんくる。2024年の1年間にホームページから投稿された問合せメールは、全部で約250件あった。そのうち労山基金に関することが半分を占めた。これは氷山の一角だ。HPを通さず直接基金のメールアドレスに寄せられるメールはもっと多い。しかし、メールはこちらの裁量で返事が書けるので何とか対応できる。基金のデスクにかかって来る電話は待たないで返事を求めてくる。山行計画書の記載方法と提出方法らを含めた山行管理は会・クラブの自主的な運用に任されている。だから当委員会であーせいこうせいという一律の基準は設けていない。しかし、この回答もさほど難しくはない。もっとも困るのは、会運営や地方連盟との問題、あるいは組織問題を持ち込まれることである。答えようがない。本来なら上の役職に相談すべき問題だが、メールはフラットな道具なので、ネットで相談しやすいのであろう。大概の質問に関する回答は、HPの基金Q&A欄を参照していただけたらわかるはずだ。そうすれば電話で同じようなことを繰り返し説明するの減少する。基金担当者は本当に身を粉にして働いているので、仕事の軽減化に協力をお願いしたい。

(労山基金運営委員長 白井邦徳)



労山基金Q&A QRコード

2025年 全国規模の集会・会議予定

機関議会・集会	全国登山研究集会	11/15-16	新大阪ユースホテル
行事・集会	全国救助技術交流集会	未定	
	全国ハイキングリーダー学校	6/7-8	長野県
	自然保護講座	9月	東北
	若手クライミング講習会	10/4-5	長野県小川山
国際会議・集会	アジア山岳連盟(UAAA)年次総会		モンゴル
友好山岳団体との共同の集会・会議等	全国山岳遭難対策協議会	7月	東京・文部科学省
	第7回「山の日」記念全国大会	8/10-11	福井県

2025年1月1日から1月31日までの事故報告一覧

件数	事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	2024/12/28	愛知	53	女	神石山	無雪期	転倒	座談山から神石山へ向かう途中11:30頃、出っ張っていた岩につまずき両膝から前方に倒れ込んだ所に腰の高さ程の岩があり、そこに両手を付いてしまった。応急処置を施し、すぐ下山する。	右橈骨遠位端骨折
2	2024/12/17	道央	57	女		人工壁	インドアクライミングでリード中	インドアクライミング中に(リード)上部の方でロープが重かったので一旦口に加えてからクイックドロにクリップした際に前歯に軽い衝撃があった。	歯痛
3	2024/12/19	兵庫	51	女	北山	無雪期	転・滑落	下山中落葉で滑り転倒し、4メートルほど滑り落ちた。左足をくじき、前額部を立木にぶつけた。	全額部挫創
4	2024/12/22	東京	37	女	八方尾根スキー場	山スキー	転倒	バランスを崩して、板が雪面に刺さる形で転倒。メンバーに板を脱がしてもらった。自力下山。病院で診てもらいMRIを撮ったところ、前十字靭帯他の箇所の損傷が認められた。	前十字靭帯断裂・大腿骨及び脛骨の骨折・大腿二頭筋肉や排腹筋外側頭・腸靭帯損傷合併
5	2024/12/15	大阪	68	女	摩耶山	無雪期	転・滑落	摩耶山から老婆谷を下山中、14時に狭い通路で足を踏み外して10mほど滑落した。	右足踵骨折
6	2024/12/30	東京	59	男	塔ノ岳	無雪期	転倒	階段状に整備された下り坂で、路面はところにより5cm位の石がゴロゴロ転がっていた。体勢を崩し、そのまま前方に飛び出し、頭から路面の石に強く擦り付けて止まった。	頭部創傷・右薬指打撲
7	2025/01/05	東京	62	女	伊豆ヶ岳	無雪期	転倒	天目指峠の途中で転倒木の根に囲まれた足場で登山靴がはさまり、足首を捻り骨折。	左足首骨折
8	2025/01/05	岐阜	44	男	硫黄岳	積雪期	転倒	赤岳山荘付近の林道で、凍った地面に滑り転倒し左肩を強打。地元の病院で診察してもらったら、脱臼骨折で手術が必要。	左肩脱臼骨折
9	2025/01/12	岡山	71	女	天狗山(備前市日生町)	無雪期	転倒	細い下り坂、シダが茂っていて足が見えず、石に足を引掛け転倒した。	右上腕骨近位端骨折
10	2025/01/04	和歌山	57	女	高見山	積雪期	転倒	下山途中に、右足を木の根に引っ掛け転倒。地面の露出した石に左側頭部・左胸部・左膝を強打した。	肋骨骨折
11	2025/01/13	京都	54	女	比叡山	無雪期	転倒	下山時、登山道にて濡れた石を踏んで転倒、顔を強打し、前歯を折った。	前歯欠損
12	2025/01/05	東京	71	女	毛無山～十二ヶ岳	無雪期	転倒	登山口まであと30分位の場所。濡れた枯葉に滑り、立て直しに失敗し反転して全面から転倒。念の為にレントゲン検査で肋骨にヒビが判明。鎮痛剤処方と肋骨バンドを装着。	肋骨骨折
13	2025/01/11	東京	41	男	城ヶ崎 浮き山橋	登攀	転・滑落	城ヶ崎 浮き山橋でクライミングしていた際に、手ごろな岩でボルダリング中に保持しきれず落下。下地の岩に右足を強打。	右足距骨骨折
14	2025/01/13	大阪	68	女	剣爾山	無雪期	転倒	落ち葉に足を取られ、転倒した際に右足首を捻った。	右足関節外果骨折
15	2025/01/18	神奈川	49	男	荒船山	氷瀑	転・滑落	相沢奥壁エイプリルフル2ピッチ目終了点5m手前付近でベルグラが割れ、転落。	右足首周辺の圧迫骨折(腓骨・脛骨・距骨)
16	2025/01/17	千葉	67	女	塔ノ岳	無雪期	転倒	山頂まであと10分くらいのところで、階段状の登山道に、階段から外れて置かれていたと思われる板につまずいて転倒し、腕を強打し手首の骨折となった。	左手橈骨遠位端骨折
17	2025/01/16	徳島	68	女	高越山	積雪期	転倒	凍結した登山道を下山中バランスを崩し転倒。その時左足関節を痛めた。	左足関節外果骨折
18	2025/01/05	京都	69	男	翠黛山	積雪期	転・滑落	翠黛山から寂光院への下り、傾斜がきつく、落ち葉とその下の石で滑り尻をついた際、左足の内側をひねった。	左膝内側側副靭帯損傷
19	2025/01/04	東京	59	男	甲斐駒ヶ岳	冬季登攀	疲労	奥千丈の滝の後水の状態やルートミスにより稜線に抜けるまで非常に時間がかかった。指も冷たくなったりしていたので気を付けてはいたが、稜線に抜けて気がついたら凍傷になっていた。	凍傷
20	2025/01/10	長崎	79	男	金比羅山	無雪期	転倒	登山開始まもなく一部凍りついた部分で左足を滑らせ、その際左手をついた。	左手首関節捻挫
21	2025/01/12	兵庫	57	男	烏帽子岩	登攀	転・滑落	タイムトンネルルートをプリセットリードしている時に、1ピン目にロープをかける前に転落し、臀部を強打し左足を打撲した。	臀部・左足打撲
22	2025/01/12	兵庫	51	男	烏帽子岩	登攀	転・滑落	烏帽子岩北山林ルートをプリセットリードで登り、2ピン目右の右足を乗せる核心部で落下。ロープは2ピン目までかかっていたが、落下距離が長く、棚の下まで落下した。	右太もも・右手薬指打撲・右足首捻挫
23	2025/01/18	福岡	65	男	三郡山	積雪期	転倒	縦走途中で足が滑り右足首に傷が生じた。	右足関節蜂窩織炎
24	2025/01/19	岡山	70	女	龍王山～風の道～祇園神社	無雪期	転倒	龍王山を下山後、「風の道」の下津井電鉄旧鳥取駅舎を出発し、約50分後に転倒。比較的整備された遊歩道だが、凹凸に躓き転倒。	肩関節脱臼
25	2025/01/25	東京	53	男	芦安の氷瀑	氷瀑	転・滑落	カモンカランゼ1P目リード登攀中に転落。氷壁に右ひざを打ち付ける。負傷により自力移動が不可能なため仲間が電波の届くところまで行き救助要請。県警ヘリにて吊り上げられた。	右脚膝蓋骨骨折
26	2025/01/25	東京	74	女	伊予ヶ岳	無雪期	転倒	下山途中、ロープを降りきったところで足が滑り、右手をつき手首を骨折した。	右手首骨折
27	2025/01/25	群馬	44	女	南沢大滝・小滝	氷瀑	落水	八ヶ岳南沢大滝をトップロープでアイスクライミング登攀中に落氷が顔に当たり、右側の目の辺りが打撲し右頬を裂傷する。	右頬打撲・裂傷

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	0	0	3	5	2	1	0	0	11
女性	0	1	1	5	5	4	0	0	16
合計	0	1	4	10	7	5	0	0	27

	無雪期	積雪期	人工壁	山スキー	登攀	氷瀑	沢登り	冬季登攀	合計
男性	2	3	0	0	3	2	0	1	11
女性	11	3	1	1	0	0	0	0	16
合計	13	6	1	1	3	2	0	1	27

	転倒	転・滑落	体勢	落石	虫・動植物	病気	下山遅れ	その他	合計
男性	4	6	0	0	0	0	0	1	11
女性	12	2	0	1	0	0	0	1	16
合計	16	8	0	1	0	0	0	2	27

	骨折	断裂	挫創	捻挫	脱臼	打撲	損傷	その他(死亡)	合計
男性	4	0	0	2	0	2	1	2	11
女性	10	1	1	0	1	1	0	2	16
合計	14	1	1	2	1	3	1	4	27

その他:歯痛1、疲労1

その他: 歯痛1、前歯欠損1、凍傷1、蜂窩織炎1

労山基金 2025年1月 交付認定の一覧

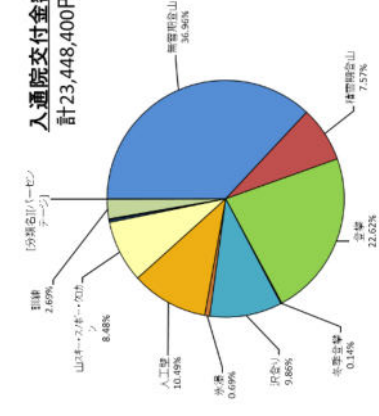
No.	地方連盟	口数等※	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	神奈川	50代女性 5口	2024/01/07 14時30分頃	八ヶ岳連峰 横岳 三叉峰ルンゼ	氷瀑	転・滑落	三叉峰ルンゼアイスライミング終了し、石尊後の縁縁へ出るまでの岩壁で事故しました。トラバース上に少し大きめ枝が落ちていて木を手で落としたり右足に引っかかってしまい、枝の落下に巻き込まれ枝と右足が絡まったまま落ちたことで複雑骨折になり、そこでピバーク。翌朝救助隊が背負い搬送された。	右足関節外果骨折、右蹠骨天蓋骨折、右足蹠骨回復治療
2	京都	80代男性 5口	2024/01/27 11時10分頃	近畿地方その他 愛宕山 愛宕山委参道	無雪期登山	転倒	神社参拝後下山時、三合目手前の参道で、登ってきた登山者に道を譲るため道端に避けた際、躓いて転倒、右ひざを強打する。自力で歩行困難になったため119番に連絡し救助を要請した。	右頸骨骨折
3	東京	70代女性 5口	2024/01/30 13時50分頃	丹沢・道志 シダゴ山 寄バス停車場前20分の林道	無雪期登山	転倒	シダゴ山頂から下山開始。林道終点の分岐の標識に作業用簡易道標と登山道標があった。先頭を歩いていた私は、「あと少し」の気持ちの緩みと明るい場所から林道の薄暗い場所にさしかかかってすぐ20mの地点、3cm程の尖った根に躓き2歩よるけながら先の横長の根に左目上の頬を打ち切った。	額切傷
4	東京	30代男性 10口	2024/02/11 12時00分頃	中部地方その他 長野県須坂市 米子不動 十八幡滝浅	氷瀑	落石(落水)	リード登攀開始後、15mくらい登ったところで、落水を受け、右頬に約4cmの切創。帰京し、皮膚科で縫合手術。	右頬切創
5	群馬	60代男性 10口	2024/01/25 13時00分頃	関東・甲信越その他 水上高原 水上高原スキーリゾート	山スキー	転倒	朝から水上高原スキー場で、新しいテレレマークスキーとNTNビンディングを使い、未圧雪のコースで深雪の滑降トレーニングを行っていた。午後も未圧雪のコース脇の深雪滑っていたところ、隠れていた木に右足が引っかかり転倒した。	左膝内側副帯損傷・半月板損傷
6	京都	70代女性 0口	2024/04/20 11時00分頃	近畿地方その他 大御影山 高鳥トレイレ 標高760mの地点	無雪期登山	転倒	右足を捻って転倒した時に、右足に過大な力がかったため動けずへりを呼ぶ。	距骨・舟状骨の離骨骨折
7	島根	60代男性 2口	2024/05/04 13時30分頃	北ア 槍・穂高周辺 酒沢 酒沢から横尾への下山ルート 約1.8キロに入った地点	積雪期登山	転倒	5月4日、酒沢登山場を撤収し横尾へ下山途中、残雪がうすうすと残る岩の上で転倒(13:30)痛みはあるが歩行可能だったため自力で横尾到着(17:30)。痛みが悪化したため横尾山荘山田社長と相談し、5月5日警察へ救助要請。上高地まで警察車で移動。	右足関節外果骨折
8	大阪	70代男性 3口	2024/04/28 13時30分頃	近畿地方その他 生駒山 奈良県生駒市大阪府東大阪市	無雪期登山	転・滑落	「僕らのひろば」で休憩した後、縦走路を南に下っていた時、段を作っていた濡れぎみに足を滑らせ膝を強くひねった。持っていたテープでテーピングしたが痛みで歩けない。十字靭帯なら歩けるのを知っていたので膝を引っ張ると歩いたのでゆっくり下りた。途中の寺で救急車を呼び病院に搬送。	左膝の半月板損傷
9	兵庫	60代男性 5口	2024/05/25 14時30分頃	近畿地方その他 千ヶ峰 兵庫県多可町 岩座神登山道	無雪期登山	足の捻り	下山時に、膝を深く曲げていたときに捻りの負荷が加わったことで、内側半月板の前方縁を損傷。	半月板損傷
10	群馬	60代男性 5口	2024/05/08 12時00分頃	人工壁 深谷スポーツグレイッジ	人工壁	その他	人工壁のボルダリングでオーバーハングを登っていたところ、フットホールドが外れ、左手指だけでぶら下がる形となり、痛みが走った。湿布を貼り数日様子を見ていたが、左手中指、薬指の第二関節周辺の痛み、腫れが引けないため、医療機関を受診した。	左第3・4指関節捻挫
11	東京都	60代女性 5口	2024/06/10 11時30分頃	九州・沖縄その他 開聞岳 6合目〜7合目間	無雪期登山	転倒	登山道の岩場を通過中、濡れた一枚岩上で転倒した。その際、右手首を強打し、橈骨を骨折した。	右手首橈骨遠位端骨折
12	東京都	70代女性 5口	2024/06/20 5時〜16時半	谷川連峰・巻機山・武尊・荒沢岳 万太郎山 エビス大黒避難小屋〜 谷川岳肩ノ小屋の間	無雪期登山	虫・動植物	登山道で大量の吸血性の虫が発生しており、山行開始から終了まで複数回に渡り、額や耳や左腕等を20カ所以上刺され、翌日に赤みや腫れの炎症が現れて、両方のまぶたがぶくらくらみ、痒みも出始めた。	刺虫症(虫さされ)又 カカカによるもの

18	岩手	50代男性 1口	2024/09/29 08時45分頃	早池峰山系 鶏頭山 七折れの滝 上部	無雪期登山	虫・動植物	七折れの滝で休憩後、急登を登っている途中、先頭4名が通り過ぎた後ハチの巣(地中)が近くにあったらしく、後続の7名が刺された。しばらく様子をみてこれ以上進むのは無理と判断し下山。刺された7名中6名は救急搬送で近くの病院を受診。5名は注射と飲み薬、塗り薬処方、1名は点滴後帰宅、通院。	虫刺され
19	岩手	50代女性 1口	2024/09/29 08時45分頃	早池峰山系 鶏頭山 七折れの滝 上部	無雪期登山	虫・動植物	同上	虫刺され
20	栃木	60代女性 2口	2024/09/29 10時00分頃	関東・甲信越その他 馬不入山 馬不入山と桜峠の間	無雪期登山	転倒	馬不入山から下山開始し、30分下ったところでザレ石に足をとられて転倒し、左足の甲が下になり体重が掛かったため、足首を骨折した。	左足関節外果骨折
21	埼玉	50代女性 10口	2024/09/22	ニセコ・支笏山系 小樽赤岩 テーブルリッジ 3ピッチ目スタート地点	登攀	転・滑落	テーブルリッジの3ピッチ目をリードしていた。1ピン目にクイックドロローをかけたに登り出したが、手が滑りグラウンドした。	両足の裏 足底腱鞘炎
22	京都	70代男性 3口	2024/10/13 15時30分頃	朝日連峰 以東岳~大朝日岳縦走路	無雪期登山	荷物過重による 疲労	避難小屋泊りで以東岳で二百名山登頂を達成すべく荷物を沢山担いで山行し、荷物過重と荷物の片寄りの為、5月に痛めた腰に過大な負担が掛かり、股関節が歪み腰痛が再発した。5月に猿ヶ馬場山山行で腰の骨がずれ仙腸関節を痛め、治療を続けて来て良くなってきたが、今回無理をして腰痛を再発。	股関節の歪みに伴う腰痛
23	和歌山	60代男性 5口	2024/11/04 10時30分頃	台高・大峰山系 赤井谷~釈迦ヶ岳 赤井谷コースの最下部、滝川出合い地点	無雪期登山	転倒	登山開始後赤井谷コースの最下部、滝川出合い地点(山行開始より1時間40分)で30cmほどの段差で左足を下した時、右足が木の根ここに引っ掛かりそのまま倒れ右足をくじく。痛みがあったため痛み止めと足首固定を行い登山口まで戻る。翌日病院を受診し右足首骨折が判明、手術が必要と診断され入院。	右足首骨折
24	東京	60代男性 3口	2024/10/26 07時30分頃	妙高・頸城・戸隠 妙高山 長助池分岐の先、妙高山の登り約2100m付近	無雪期登山	その他	26日の2日目に2100m付近で、足を捻った様で右膝に違和感があり、その後登山中も終始サポーターを使用し下山。27日も膝に違和感があり、28日朝は右膝が痛く階段が登れない状況になった。病院でレントゲン検査の結果、靭帯の付根に炎症がある可能性があり。11月8日MRI検査にて「大腿首付着部炎」と診断。	大腿首付着部炎(右脚) 外側の靭帯
25	京都	70代女性 3口	2024/11/17 15時00分頃	近畿地方その他 龍門山 柿畑林道	無雪期登山	転倒	滑りやすい林道の斜面で横切った時転倒した。右肘下の皮膚損傷して出血する。出血がなかなか止まらないうえ翌日受診して傷を縫合。	右肘下皮膚損傷・出血

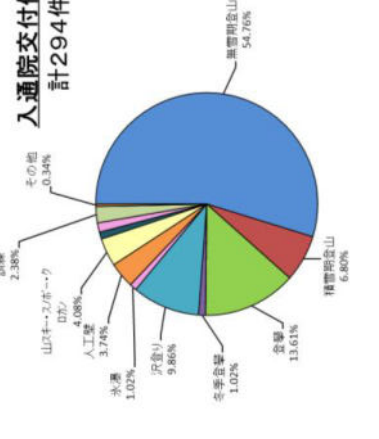
※口数等：(団=団人口数、表記がないものはすべて個人登録のみ)

★交付特典：①一般登山連、②標高2000メートル以下、③標準コースタイム5時間以内、④日帰りの要件に該当するもの、⑤岩場・沢・雪山・海外は含まない場合は定められた交付率の3倍を交付します。ただし、通常交付の10口分を交付の上限額とします。(労山基金規定・細則-3)

年間入通院交付金額
計23,448,400円



年間入通院件数・金額
計294件



■ 全国ハイキングリーダー学校のご案内(主催 全国連盟、主管 長野県連盟)

「登山寿命をのばすための歩き方とトレーニング」

2025年6月7日(土)～8日(日)

場 所 北八ヶ岳・唐沢鉱泉

受講資格 登山会員で山行リーダー、又は希望者

受講料 15000円(一泊二食付き)

受講定員 30名

内 容 登山寿命をのばすための考え方と実際。
山での歩き方と日常トレーニングの見直し方。
(講義及び実技、両日の参加が原則)

講 師 安藤 真由子さん

(鹿屋体育大学卒、体育学博士。健康運動指導士、登山ガイド、
元自転車ロードレース日本代表。右の写真参照)

川嶋 高志さん(全国連盟理事長)、石川 昌さん(全国遭対部長)



詳細については近日中に全国連盟事務局より実施要綱が各県連盟に送付されます。

登山時報 2025年冬号 発行

----- 内容 -----

【海外山行報告】①ネパール・ツクチェピーク前衛峰北東壁、②インド・カリンディ峰とベビーシブリン、③パキスタン・ガンバルズムV峰／第23回海外山行交流集会／【第22回全国登山者自然保護集会】①四国の山岳地域における風力発電の現状、②剣山とニホンジカ、③南アルプス大井川源流部蛇抜沢調査／登山に役立つ気象のお話(地球温暖化と登山への影響)／登山寿命を伸ばす為の考え方と実際／若手のためのクライミング講習会／遭難の教訓・備忘録⑧『雪崩』／スティーブのノースウェールズ庭だより／山の自由帳／子づれ山さんぽ／マンガ

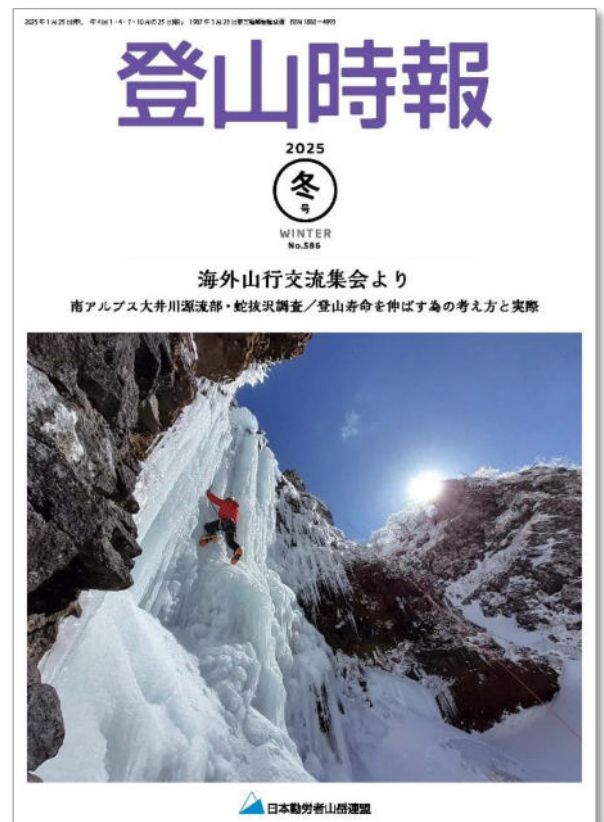
★表紙写真:「ジョウゴ沢乙女の滝」長野県八ヶ岳
小野亜紀(カモの会／神奈川)

----- 個人購読・受付中 -----

【年間購読料】1,200円(年4回発行。送料・税込)

【購読申込】郵便局備え付けの払込取扱票利用

通信欄に次の項目をご記入の上、購読料をご送金ください。①購読者氏名、②購読部数、③送付先住所、④電話番号またはメールアドレス、⑤購読開始号



←登山時報は登山 HP から PDF 版
がご覧になれます